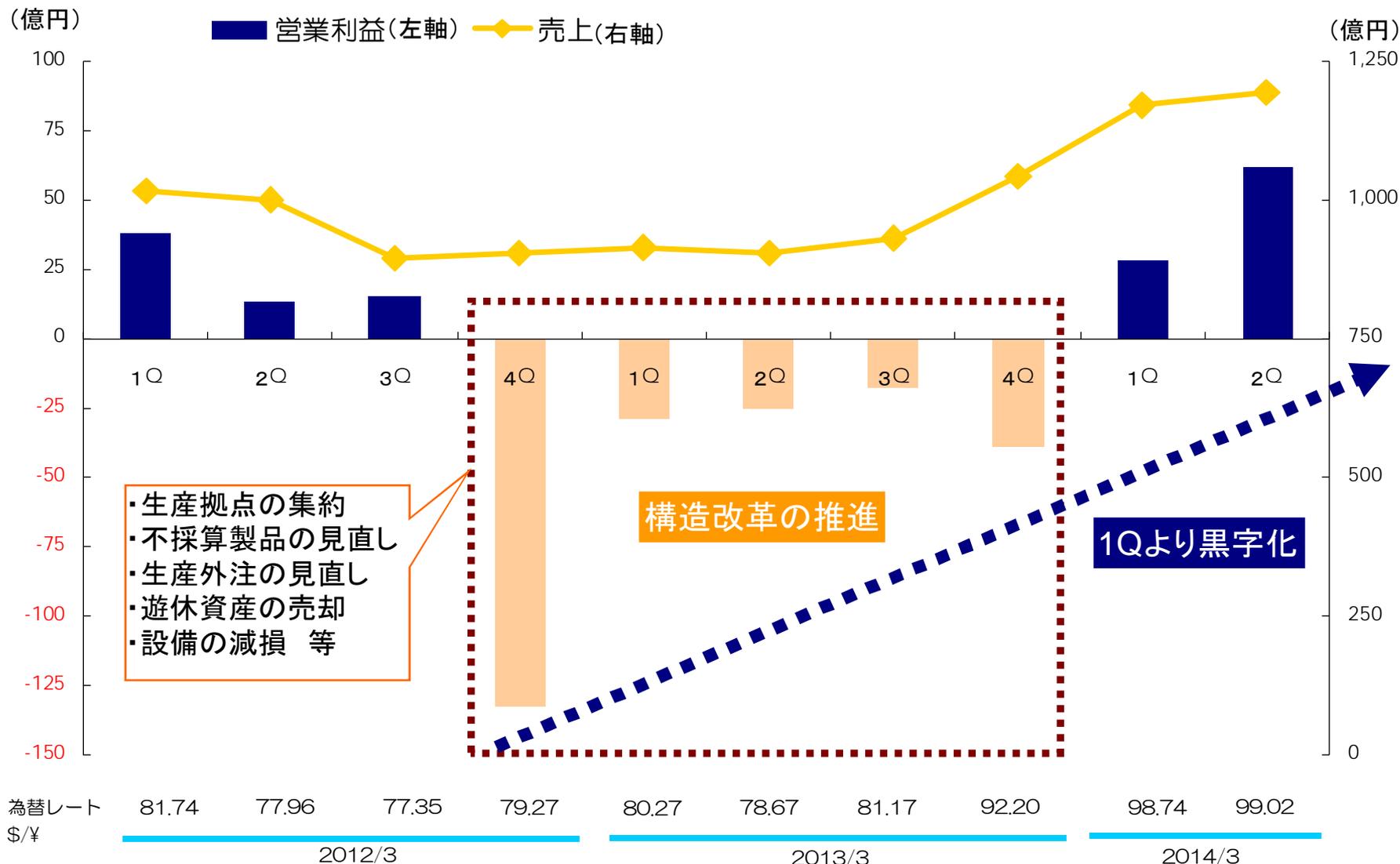


受動部品事業について

専務執行役員
植村 博之

受動部品事業の四半期業績の推移



●更なる収益性改善への取組み

◆セラミックコンデンサ

ー引続き自動車市場向け製品を強化

◆インダクティブデバイス

ー薄膜/巻線/積層工法のフルラインアップで顧客要求に柔軟に対応

◆高周波部品

ー堅調な販売のSAW（ディスクリット品）は増産で更なる拡大を目指す

ーモジュール品はデザイン・イン活動継続

ーICメーカー向けリファレンス活動の強化

◆圧電材料部品（VCM、OIS）

ー中国スマホ向け堅調、今後採用が期待されるOISの着実な受注確保

◆生産性の改善

ーセラミックコンデンサの生産ライン最適化促進

（今迄の拠点集約後の更なる生産性改善、材料から製品までの一貫ラインの確立）

ー高周波部品生産プロセス改善の継続

（ヘッド事業のプロセスエンジニアを派遣）

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといたします。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は以下のページに後日掲載をいたします。
http://www.tdk.co.jp/ir/ir_events/conference/2014/2q_1.htm